

緊急時の背下げ操作（停電・故障時などの対応）

電動在宅ケアベッド 和夢“凜”は、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に手で背ボトムを下げるすることができます。

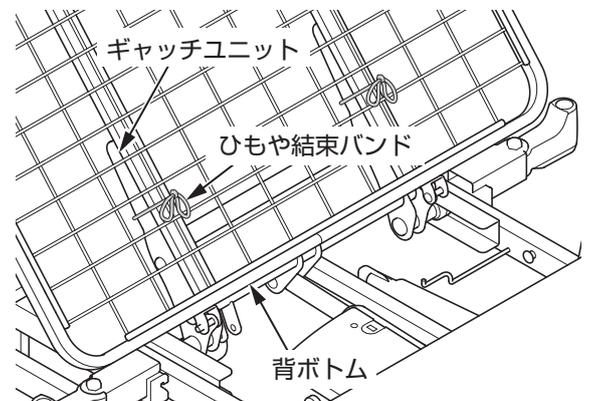
⚠ 注意

事故、破損、ケガをします。

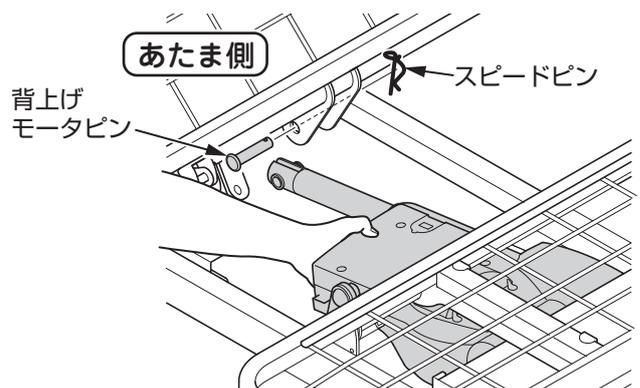
- ◆必ず2人以上で作業をおこなってください。
- ◆必ず背ボトムを手で支えて作業をおこなってください。
荷重がすべて背ボトムにかかり危険です。
- ◆スピードピンを外す際は、ラジオペンチやプライヤーを使用してください。

背下げの方法

1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 療養されている方と寝具をベッドから降ろす
3. 作業をしやすくするため、座ボトムを取り外す
39 ページ 参照
4. 背ボトムとギャッチユニットをひもや結束バンドで固定する



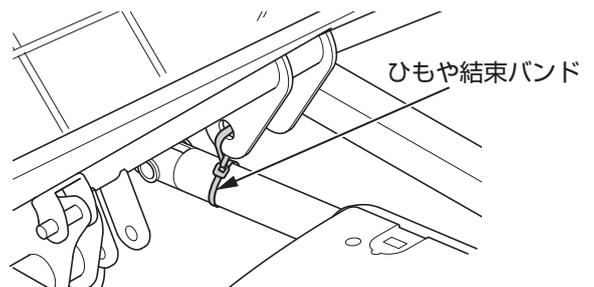
5. 背ボトムが落下しないように手で支える
6. 背上げモーターが落下しないように手で支えて背上げモーターピンとスピードピンを取り外す



Point

- 外した固定ピン、スピードピンは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。

7. 背上げモーターをひもや結束バンドで固定する
8. 背ボトムを手で支えながら降ろす
9. 座ボトムを取り付け、寝具、療養されている方をベッドに戻す **21 ページ 参照**
10. 電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。



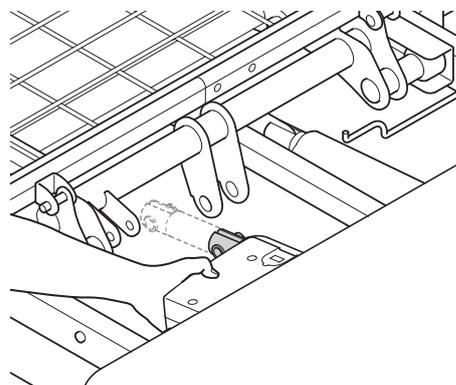
もどしかた

電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

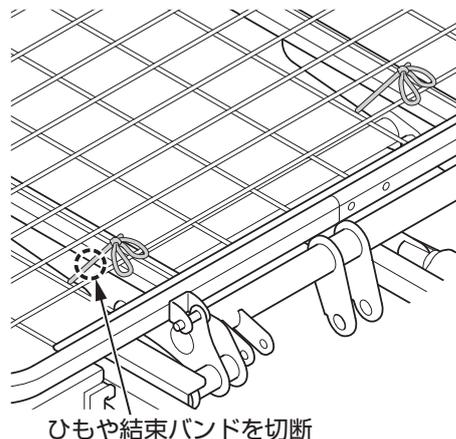
1. 療養されている方と寝具をベッドから降ろす
2. 作業をしやすくするため、座ボトムを取り外す
3. 電源プラグをコンセントに差し込む **40 ページ** 参照
4. 背上げモーターが落下しないように手で支えながら、背上げモーターを固定しているひもや結束バンドを切断してください。



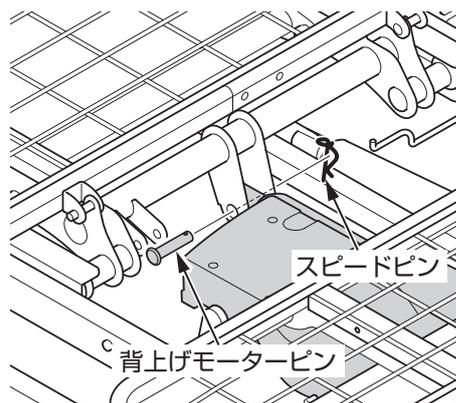
5. 手元スイッチの「せなか さがる」ボタンを押して背上げモーターのシャフトを最後まで引き込んでください



6. 背ボトムとギャッチユニットを固定しているひもや結束バンドを切断してください



7. ギャッチユニットと背上げモーターの先端を背上げモーターピンを差込みとスピードピンで固定します



8. P30の「組み立て後の点検」に従い点検を行ってください
9. 座ボトムを取り付けてください **21 ページ** 参照